

二次電池の充放電試験において、高精度な計測データ収集の他 安定した運用環境を提供

充放電ソフトウェア



LinkAnyArts-CD

対応製品と型番

RZ-X2用: LA-3996

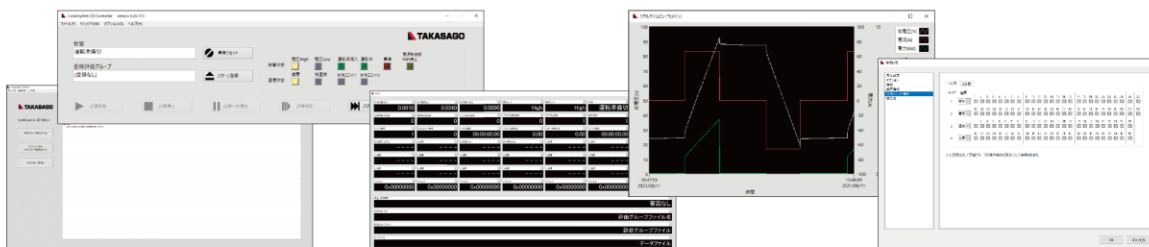
希望小売価格 **550,000** 円



アプリケーション例

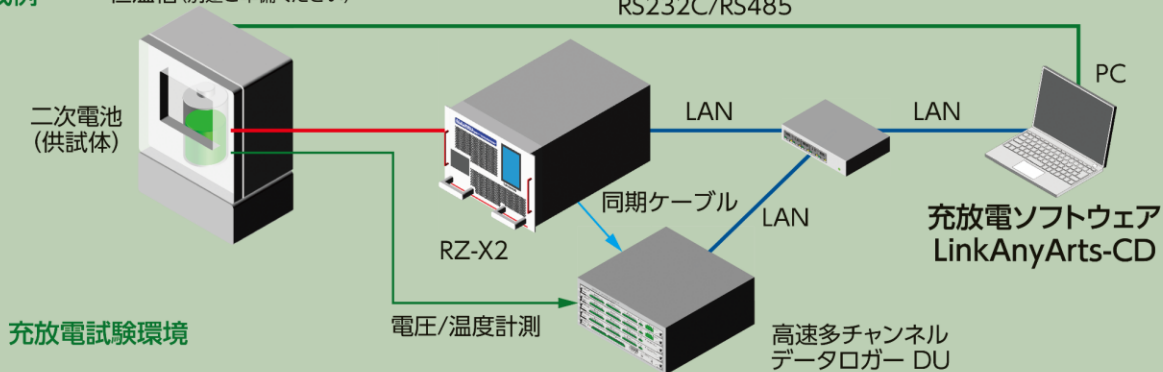
■ 二次電池充放電試験・・・など

電力回生型ハイブリッド電源 (RZ-X2)、高速多チャンネルデータロガー (DUシリーズ) や恒温槽を連携でき、高精度な計測データ収集ができます。



構成例

恒温槽 (別途ご準備ください)



充放電試験環境

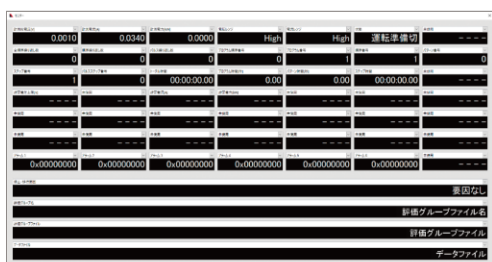
特長

■ LinkAnyArts-CD (充放電ソフトウェア)

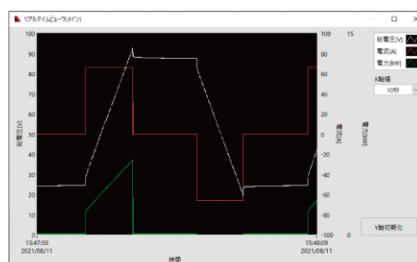
充放電試験を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアにより、電力回生型ハイブリッド電源 (RZ-X2)、高速多チャンネルデータロガー (DUシリーズ) や恒温槽を連携することができます。これにより、計測タイミングを同期でき、高精度、高品質な計測が行えます。また、リチウムイオン電池などの二次電池の評価試験に最適な、定電流 (CC) 充放電、定電流定電圧 (CC/CV) 充放電などの基本的な充放電モードの他、パルス充放電機能をサポートしています。

■ 試験の状況をグラフィカルにモニタリング

試験の実行中は、パソコン画面上に試験の実行状態や、各設定値、計測値が表示され、計測値はリアルタイムビュー画面でも表示できます。また、リアルタイムビューは縦横スケールの設定機能を搭載、これにより、見たい範囲を自在にモニタリングを行うことができます。



モニタ画面*



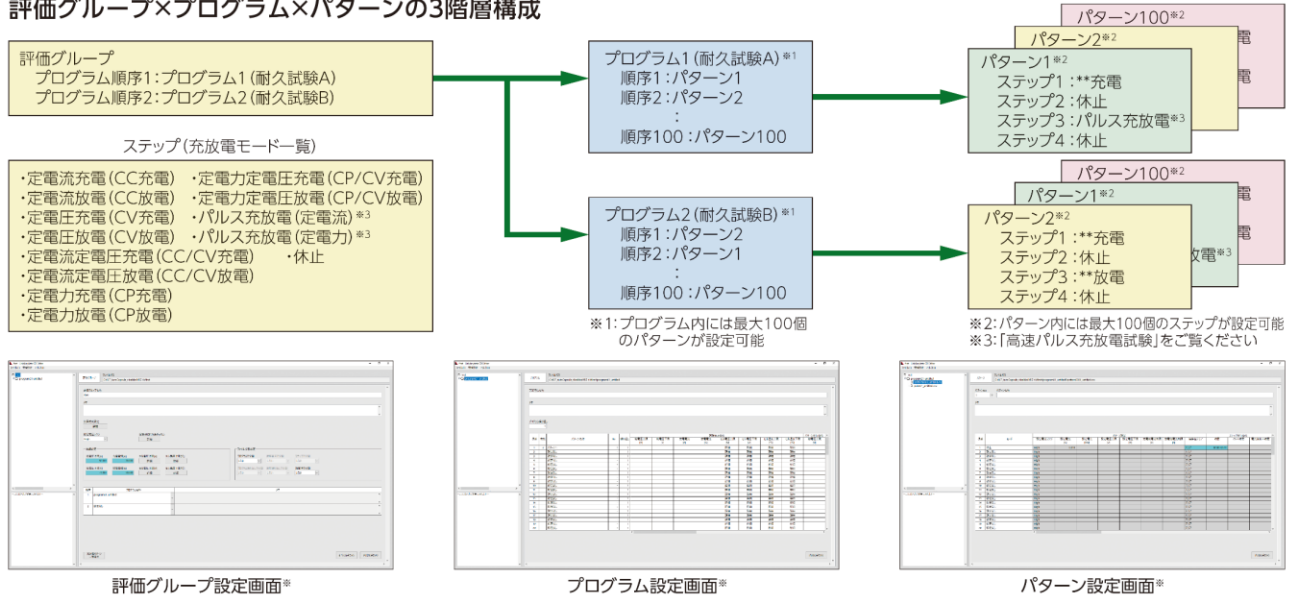
リアルタイムビュー画面*

■ 約70項目の中から表示項目を自由に選択可能

■ 複雑なパターン構築も容易に実現

評価グループ×プログラム^(※1)×パターン^(※2)の3階層構成を導入、これにより複雑な試験プログラムを簡単に組むことができます。また、試験単位での入れ替えや繰返し回数の設定が容易にできるため、多彩な評価試験にも対応できます。

評価グループ×プログラム×パターンの3階層構成



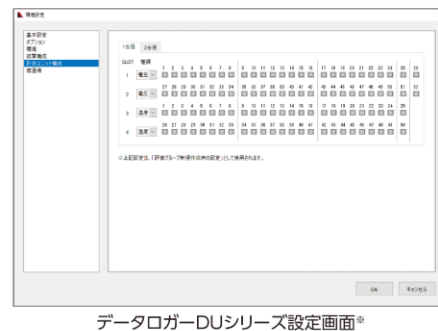
■ 高速パルス充放電試験^(※3)

パルス充放電試験では、データロガーなどで測定し、CSV形式で保存された電流値または電力値のログファイル(最大6万ステップ)をインポートして、充放電試験のパルスパターンとして使用できます。



■ データロガーDUシリーズとの連携

データロガーDUシリーズと連携ができ、高精度な同時多チャンネル電圧、温度計測が行えます。更にDUシリーズに実装する電圧・温度ボードにあわせて、自由に設定できるため、電圧・温度チャンネル数を多彩に選択できます。



■ 試験データの保存

試験データは、CSV形式でパソコンに保存されます。

■ 豊富なステップ移行・試験停止条件

充放電試験に必要な各種パターン、ステップの移行や試験を停止する条件の判定機能をサポート。

■ 異常・故障監視

RZ-X2やデータロガー、恒温槽と常に通信を行い、異常発生時、試験を停止します。また、試験停止要因を簡単に確認できます。

※画面は開発中のものです。実際の商品とは異なる場合がございます。

仕様

機能	品名	LinkAnyArts-CD
	形名	LA-3996
希望小売価格(円・税別)	550,000	
充電動作モード	定電流充電(CC充電)、定電流放電(CC放電)、定電圧充電(CV充電)、定電圧放電(CV放電) 定電流定電圧充電(CC/CV充電)、定電流定電圧放電(CC/CV放電)、定電力充電(CP充電)、定電力放電(CP放電) 定電力定電圧充電(CP/CV充電)、定電力定電圧放電(CP/CV放電)、パルス充放電(定電流)、パルス充放電(定電力)、休止	
主な機能 注:その他の機能についてはお問い合わせください。	データロガー、恒温槽との連携、リアルタイムモニタ、CSVファイルインポート、 CSVファイルによる試験データ保存、試験を停止する条件の判定機能 など	
安全機能	RZ-X2や、データロガー(DUシリーズ)、恒温槽などの状態を監視、異常発生時、試験を停止 また、試験停止時の要因を確認可能	
設定項目	評価グループ設定	プログラムを最大2件
	プログラム設定	パターンを最大100件
	パターン設定	パターン数 最大100件 / ステップ数 最大100件(充電モード)
	パルス設定	パルス数 最大10件(パルス充放電) / パルスステップ数 最大60000件
データロガー(DU)	最大接続数	2台
	電圧測定 最大チャンネル数	104(1台) / 208(2台) 4スロット電圧ボード実装の場合
	温度測定 最大チャンネル数	100(1台) / 200(2台) 4スロット温度ボード実装の場合
恒温槽	通信インターフェース	LAN
動作環境	通信インターフェース 注:サポート機種についてはお問い合わせください。	RS232CもしくはRS485をサポートしている恒温槽 但し、本ソフトウェアがサポートしている通信コマンドに準拠している必要がありますので、詳しくは、お問い合わせください。
		Microsoft Windows 10(32bit/64bit) ^{※1}

※1:動作するPCの詳細スペックについては、取扱説明書にてご確認ください。なお、取扱説明書のご希望の方は、弊社ホームページのお問い合わせフォームよりご依頼ください。

取扱代理店